



■取扱説明書

(株) 傳田聴覚システム研究所

3D-032 Digital Drive Box with 4ch Power Amplifiers

■本書は、3D-032シリーズに付属する、コンパクト・オーディオ・アンプDriveBoxの取扱説明書です。

- Digital DriveBoxは、DSP（デジタル信号処理プロセッサ）を搭載しており、Dr.3スピーカの特性改善を行う周波数/位相特性を整合する機能を有しております。
- S/PDIFやUSBなどのデジタルオーディオ信号が直接受けられる様に設計され、デジタルオーディオデバイスやパーソナルコンピュータからの信号を、デジタルのままパワーアンプまで転送することで、アナログ歪みの全く入らないフルデジタルシステムとなっております。
- アナログ歪みの原因となるDAコンバータを使用せず、パワーアンプ部が0と1のデジタルで動作し、スピーカを含む終段ネットワークで、音声信号（アナログ）に変換するという完全なデジタル式オーディオシステムです。
- これにより、音楽機能の低いノートパソコンやビジネス用コンピュータ、また、オーディオ性能の低いTVシステムが、高性能デジタルオーディオシステムに変身いたします。
- もちろん、従来のアナログ信号も受けることができるように、バー・ブラウンの24bit高性能ADコンバータ、PCM1802を搭載。ダイナミックレンジ（DR）、SNRIは、ともに105dBに達します。これにより従来のアナログソースも極めて高精度にフルデジタルアンプを駆動することが可能となっております。
- 一方、出力アンプは300Wの容量のあるTAS5631を2機搭載。しかもこれを120Wx4chで使うという余裕のある設計をしています。
- 最新技術を満載した高性能フルデジタルアンプとして設計されているだけでなく、スイッチオンでくるくるボン！超簡単ジョグダイヤルとマイコンを搭載した、操作者を選ばないコンパクト設計となっております。
- リモコン機能により、入力切り替え、音量調整、MUTE、電源のON/OFFを離れた場所から調整することができます。



■この度は本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず大切に保管してください。

お買い上げいただきました製品は、安全に十分配慮し、厳重な品質管理のもとに設計されております。

しかし、電気製品はすべて、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故が起こることがあり危険です。

事故を未然に防ぐために、以下のことを必ずお守りください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示します。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



電源プラグを
コンセントから抜く

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のままご使用されますと、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜くか、ブレーカを落としてください。炎が出たら、大声で応援の人をよび、電気火災用消火器を使って火を消すか、119番に通報してください。煙が出なくなるのを確認して販売店もしくは当社に修理をご依頼ください。

●万一、機器の内部に水や金属片などの異物が入った場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店もしくは当社にご連絡ください。そのまま使用されますと、火災・感電の原因となります。

●ACアダプタのコードの上に重いものを載せたり、釘やステーブルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。万が一、コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、コンセントから抜いて販売店もしくは当社に修理をご依頼ください。そのまま使用されますと、火災・感電の原因となります。

●万一、本製品を落としたり、電源プラグを破損した場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店もしくは当社にご連絡ください。そのまま使用されますと、火災・感電の原因となります。



警告

- 本機を傾いた場所やぐらついた台など、不安定な場所に設置しないでください。また、設置場所および設置器具の強度は重みに十分耐えられるものにしてください。落下して、怪我や事故の原因となります。
- 本機には重量がある上、ややとがった部品があります。設置や調整時には十分注意をしてお取り扱いをお願いします。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の表示が出る部位には、指や棒等で押すと、壊れる部品があります。設置や調整時には、十分注意をしてお取り扱い願います。万が一、壊れた場合、その個所に触れますと、怪我をしたり、火災や感電の原因となりますので、すぐに販売店もしくは当社に修理をご依頼ください。
- 本機の上蓋、放熱金具などは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店もしくは当社にご依頼ください。
- 本機およびコードを熱器具の近くや、直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用されますと、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧でご使用にならないでください。火災・感電の原因となります。
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、傷つけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- コードの上に重いものを載せたり、釘やステーブルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。特に、コードを敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものを載せてしまうことがないようにしてください。
- コードを人が通るところなど、引っかかりやすい場所に這わせないでください。つまりいて転倒したり、スピーカが落下し、けがや事故の原因となります。
- 本機の近くに、水の入った花瓶、植木鉢、薬品や水の入った容器等を置かないでください。こぼれて機器にかかった場合、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターには、本機専用のもの以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



注意

- 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たるなどによって異常に高温になる場所に本機を保管しないでください。変色や破損の原因となることがあります。
- テレビやビデオ機器、オーディオ機器、ゲームやコンピュータ機器などの接続を行う際には、各々の機器の取扱説明書をよくお読みの上、電源を切り、説明に従って丁寧に接続してください。また、接続線は規格にあったものをご利用ください。指定以外のものを利用したり、コードを不用意に延長したりすると発熱し、火災や怪我の原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、接続される他の機器の音量（ボリューム）を最小にしてからにしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 5年に1度くらいは、機器内部の清掃を販売店もしくは当社までご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしませんと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。清掃費用に関しては、販売店などにご相談ください。



注意

- 本機の上や下に他の機器などを重ねたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、怪我の原因となることがあります。
- 機器とコード類は、正しく配置してください。コードやケーブルに手や足などを引っ掛けますと、本体が落下・転倒して、怪我や故障の原因となることがあります。コードの取り回しには、特にご注意ください。
- 機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に小さなお子様やペット等が、本体やコードなどで遊ばないように、本体及びコードに手が届かない場所に設置してください。コードなどを引っ張って本体や周辺機器が落下し、怪我や故障の原因となることがあります。
- 本体や梱包材などは注意して廃棄してください。本体や周辺機器、および梱包材の一部は、金属やプラスチックでできているため、燃やすと危険です。廃棄するときは、十分に注意して、各自治体の指示にしたがってください。
- 長時間、音が歪んだ状態で使用しないでください。システムの一部が故障している可能性がありますので、調査して、その原因を取り除いてください。異常な状態のまま、使用されますと、スピーカが発熱し、火災や故障の原因となることがあります。

目次

1.準備（ご使用前に）	4
2.接続方法	5
3.アンプの起動方法.....	8
4.操作方法	9
5.リモコンでのコントロール	10
6.保証・アフターサービス	11

1. 準備（ご使用前に）

■ 設置場所および設置上のご注意

セットを長くご使用いただくために、次の様な場所には設置しないでください。

- ・直射日光を受けたり、暖房機器などの発熱体に近い場所
- ・風通しが悪く、湿気やほこりの多い場所
- ・振動や傾斜のある不安定な場所
- ・窓際で雨などのかかる恐れのある場所
- ・アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性のものに近い場所
- ・天地の狭いオーディオラックなど、放熱を妨げる場所
- ・その他、温度や湿度の高い場所

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- ・電源電圧は、交流100Vをご使用ください
- ・電源周波数は、50Hzまたは、60Hzでご使用ください

■ 接続上のご注意

- ・接続するときは、必ず電源を切ってから行ってください
- ・ピンプラグ等は、確実に差し込んでください（不完全な接続は雑音の原因となります）
- ・接続される他の機器等の取扱説明書もよくお読みの上、接続してください

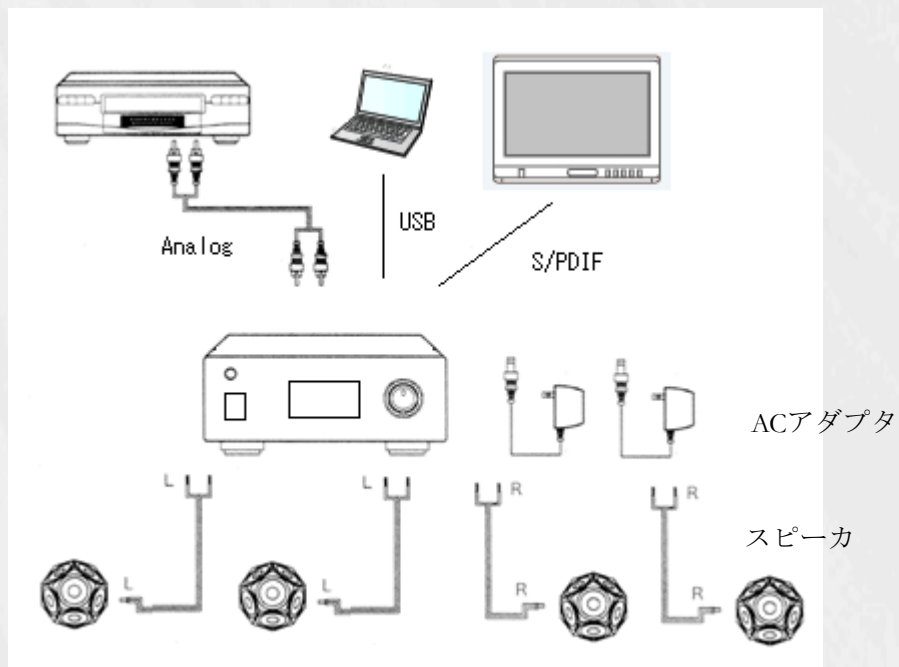
■ 電源コードの取り扱いはいかに

- ・コンセントに接続するときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください
- ・電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますと、コードが傷み、感電や火災の原因になります
- ・長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプタを抜く習慣をつけましょう

■ 筐体の上蓋を開けないでください

- ・本機内部の点検や調整は、専門知識をもった弊社指定の技術者以外の方は行わないでください。故障や感電の原因になります。
- ・上蓋を開けた場合の故障や、性能の劣化については保証の対象ではありません

2. 接続方法



■ 接続できる音楽ソース（音楽再生機器）

- ・ラインアウト端子（アナログ）を持つTuner/CD/DVD/HDD/Blu-rayなど
- ・iPodやウォークマンなどの携帯音楽プレーヤ
- ・USBコネクタ付きPC（USBオーディオVer.1.1以降対応の機種）
- ・デジタルオーディオ出力（S/PDIF：光）をもつ、デジタルTV、CD/DVD/HDD/Blu-rayなどのオーディオ再生機器
- ・PS3などデジタル、アナログ対応オーディオ出力付きゲームプレイヤ
- ・デジタルオーディオ出力（S/PDIF：光）をもつ、iPodドックなど

■ フロントパネル

- ・フロントパネルは、実にシンプルです。左がパワースイッチ。そのやや上方にリモコンの受光口があります。
- ・センターは、ブルーに白字のメッセージウィンドウを搭載しており、ボリュームや様々な設定を行うことができます。
- ・そして、右端に「くるくるボン」、ボリューム調整つまみ兼用の各種モード設定つまみがあります。

※注意 電源をOFFにしたときは、内部のコンデンサーが放電するのを待って、再度ONにしてください。コンピュータにリセットがかからないことがあります。内部のコンピュータが動作不具合になったときには、電源をOFF-ONしてリセットすることができますが、その際、OFFからONまで5秒程度待ってください。



■ 筐体はすべて軽量アルミニウム合金製です。

- ・天板およびフロントリアを含む側面パネルは、アルミニウム製、高価なオリジナル・ヘアライン加工です。



■ リアパネル

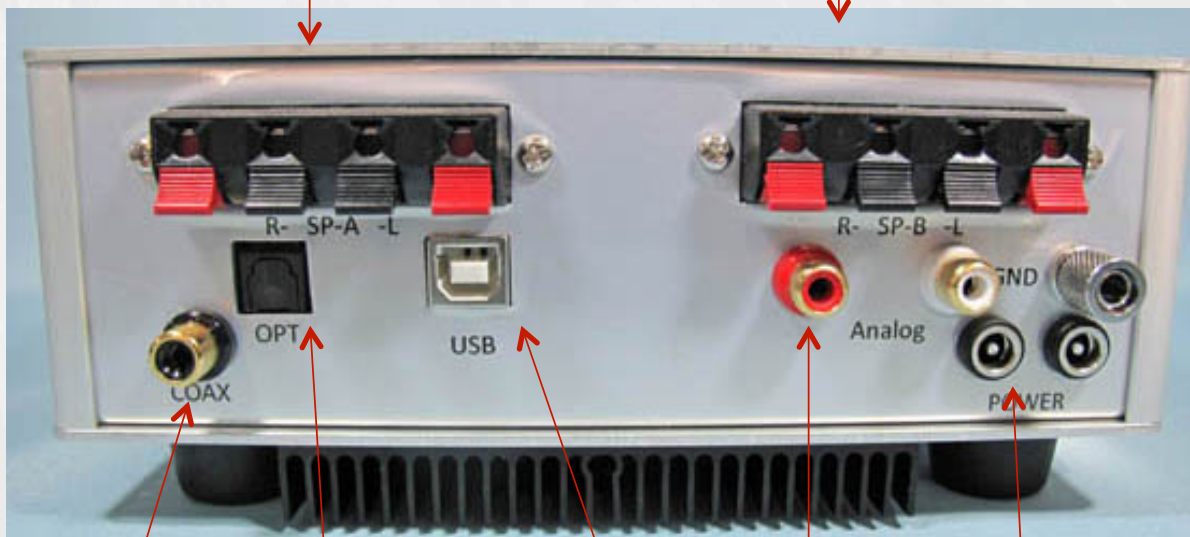
- ・リアパネルには、様々な入出力端子を装備しています。
- ・RCAコネクタは、経年変化と接点接触抵抗を考慮して、金メッキがほどこされています。

■ リアパネル（電源とアナログ端子）

- ・上段はアナログ系入力端子（RCAピン）です。
- ・右には、スピーカー出力端子があります。
- ・下段はデジタル入力端子です。
- ・左の蓋つきのコネクタは、S/PDIFデジタル光信号入力コネクタ（TOS-LINK）です。
- ・その右隣の黄色のRCA端子は、S/PDIFの同軸入力コネクタです。
- ・中央のUSBコネクタは、パソコンのUSBオーディオ信号を再生するための端子です。USBを備えたパーソナルコンピュータを接続し、音楽再生することが可能です。MINI-USBケーブルが必要となります。
- ・下段、右は電源接続端子です。ACアダプタを接続します。

スピーカー出力端子A

スピーカー出力端子B



S/PDIF
デジタル音声
入力端子（同軸）

S/PDIF
デジタル音声
光入力端子
（TOS-LINK）

パーソナルコンピュータ用
デジタルオーディオ入力
USBコネクタ（B）

アナログ音声
入力端子
（RCAピン）

電源
上段：パワーブースト
下段：ベース電源

3. アンプの起動方法

- ・赤外線リモコンを利用して、アンプの操作をすることができます。
- ・赤外線センサーには、フナイ社のTV用コードが割り当ててあります。



■ 本体の電源ON/OFF

- ・本体の電源スイッチを上にもとめると、スイッチ上部の赤いLEDが点灯します。
- ・最初に電源を投入した際には、アンプはONとなり、ディスプレイがブルーバック点灯し、白の文字が表示されます。
- ・リモコンは、この状態から利用できるようになります。



■ リモコン操作

- ・リモコンの電源ボタンを押すと、本体の電源がOFFとなります。
- ・この状態では、電源スイッチの赤いLEDはついたまま、ディスプレイは、消灯します（アイドリング状態）。
- ・アイドリングの状態から、もう一度リモコンの電源ボタンを押すと、再びアンプは起動します（アンプはONとなり、ディスプレイがブルーバック点灯し、白の文字が表示されます）。



4. 操作方法

- ・つまみを右にまわすと、ボリュームがアップします。
- ・同様に、左に回すと、ボリュームがダウンします。



■ モード変更方法

- ・つまみを押すと、モードが変わります。
- ・起動時はボリュームとなっておりますが、ボタンを押すとモードが変わり、入力切り替えスイッチとなります。そして、もう一度押すともとのボリュームに戻ります。



■ モード

ディスプレイにモードが表示されます。

- | | | |
|------------|--------------|--------------------------|
| 1) Volume | ボリューム | (Dencho-kenもしくはユーザ名) |
| | 00~31 | 一般的に使用します。 |
| 2) Input | 入力切り替え | |
| | Optical | S/PDIF 光デジタル入力 |
| | Coax | S/PDIF 同軸デジタル入力 |
| | PC (USB) | パーソナル・コンピュータ (USBデジタル接続) |
| | Analog | アナログ入力 |
| 3) Type A: | 3D-032 Clear | スピーカA音質設定 クリア |
| | 3D-032 Boost | スピーカA音質設定 強調 |
| 4) Type B: | 3D-032 Clear | スピーカB音質設定 クリア |
| | 3D-032 Boost | スピーカB音質設定 強調 |
| 5) Speaker | SP-A | スピーカAのみ作動 |
| | SP-B | スピーカBのみ作動 |
| | 4CH | スピーカA+B作動 |

※ なお、10秒間操作をしないと1)のボリュームモードに戻ります。
このとき、Dr.three,もしくはユーザ様の名前が表示されます。



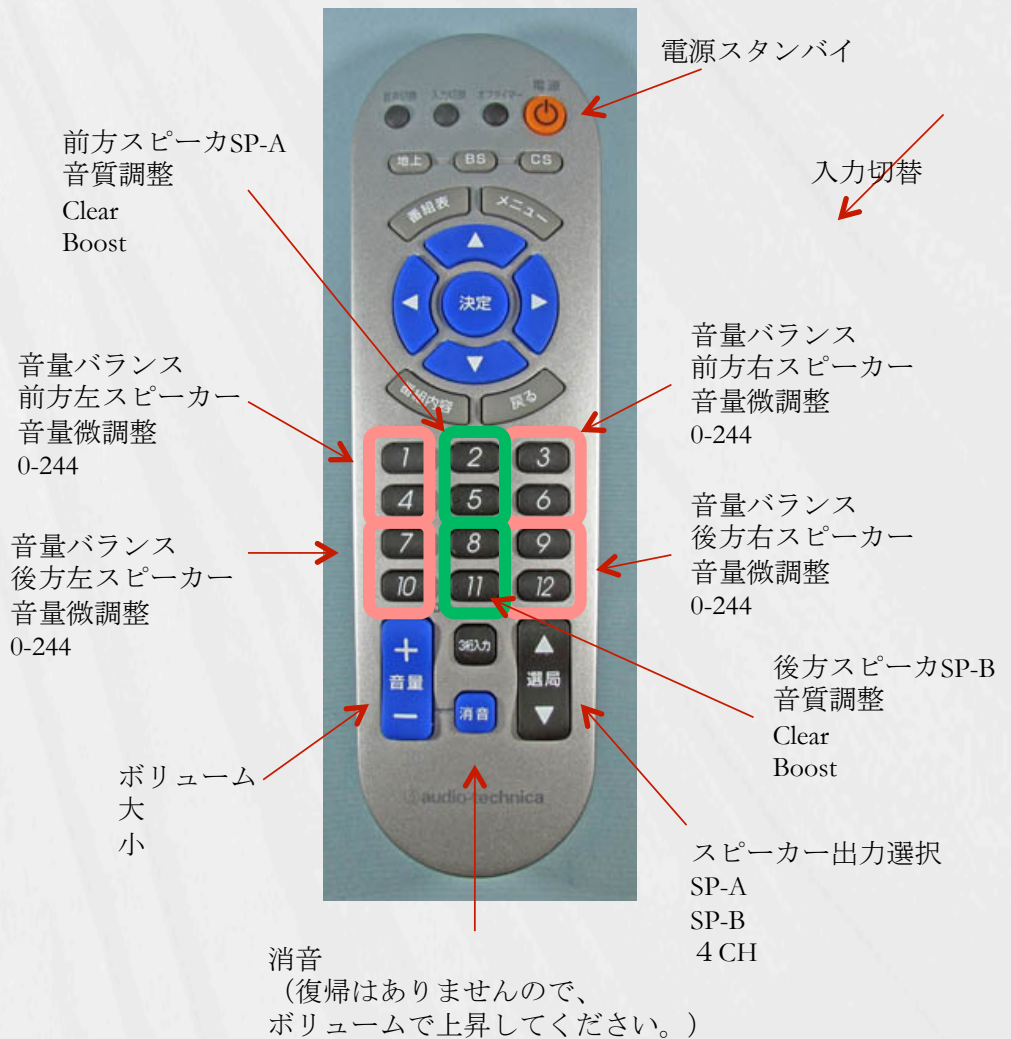
5. リモコンでのコントロール

- ・リモコンの[大]キーと[小]キーで音量のコントロールができます。
- ・[消音]キーを押すことで、音を消す（出力を00にする）ことができます。
（但し、復帰しませんので、[VOL+]キーで再度音合わせを行ってください。）
- ・[入力切替]キーを押すと、以下の順に入力切り換えがローテーションします。
（Analogから更に[入力切替]キーを押すと、Opticalに戻ります。）

Input	入力切り替え	
	Optical	S/PDIF 光デジタル入力
	Coax	S/PDIF 同軸デジタル入力
	PC (USB)	パーソナル・コンピュータ (USBデジタル接続)
	Analog	アナログ入力

※ なお、10秒間操作をしないとボリュームモードに戻ります。
このとき、Dr.three、もしくはユーザ名が表示されます。

- ・リモコン操作のまとめ



■保証書

- ・この商品には保証書を添付しております（取扱説明書の裏表紙）。
- ・保証書は、販売店での所定事項を記入してお渡ししています。記載事項をご確認ください。
- ・また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間はお買い上げになった日から、1年です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- ・お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

- ・動作がおかしくなったり、ACアダプタ、もしくは、電源コードなどが破損していることに気づいたなら、すぐにご使用をおやめいただき、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。
- ・保証期間中の修理に関しましては、保証書をご提示ください。
- ・保証規定にしたがった修理をさせていただきます。
- ・保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望により有償修理となります。

<保証規定>

1. 取扱説明書などの注意事項に従った正常なご使用状態で、万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、または当社が無償修理をいたします。
 2. 保証期間中に故障し、無償修理を受ける際は、お買い上げの販売店、または当社に商品をお持ち込みになり、本保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
 3. 次の場合は、たとえ保証期間中であっても有償修理となります。
 - 1) 保証書のご提示のない場合
 - 2) 保証書にお買い上げの日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいはこれらの字句を書き換えられた場合
 - 3) ご使用上の不注意、あやまりによる故障、損傷
 - 4) お買い上げの販売店、または当社サービス部本以外での不当な修理、または改造による故障、損傷
 - 5) 天災地変など不可抗力による故障、損傷
 - 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下などによる故障、損傷
 - 7) 本商品以外の機器に起因する故障、損傷
 - 8) 特に、過酷な条件下において使用された場合の故障
 - 9) 消耗品の損傷
 4. この保証書は、日本国内においてのみ有効です（This warranty is valid only in Japan.）。
 5. この保証書は、再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した保証期間・条件のもとに無償修理をお約束するもので、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間内での本保証内容についてご不明の場合、または保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。
 - 商品の修理・検査のための送料、およびお客様への返送料金は、保証期間の内外を問わず、お客様に送料をご負担いただきます。
- なお、商品を送付する場合は、輸送中の事故を防ぐため、しっかりと梱包してお送りください。

■保証書

本書は本記載の内容により、無償修理を行うことをお約束するものです。

品名	4CH アンプ付き Digital D/BOX for 3D-032
保証期間	本体のみ 1年 (付属品は保証対象外です)
お買い上げの日	年 月 日
お客様	様
ご住所	〒
電話番号	()
販売店名	

販売店様へのお願い：お買い上げ日、店名、住所、電話番号を記入の上、お客様へお渡しください。

発売元
株式会社・傳田聴覚システム研究所 〒222-0013 横浜市港北区錦が丘 11番17号

・商品に関するお問い合わせ

☎ Tel=045-439-5955 Fax=045-439-5956

(受付時間 10:00~18:00 平日)